



上野沼（上野原地新田地区）

### 議案審議

## 平成27年度 補正予算等を審議

議案審議 …②

審議された議案と結果 …④

一般質問 …⑤

私のメッセージ …⑧

議会日誌 …⑧



### さくらがわ市議会だより 42号

2016年(平成28年)2月1日発行

発行：桜川市議会 編集：桜川市議会広報特別委員会  
〒309-1292 茨城県桜川市岩瀬64番地2  
http://www.city.sakuragawa.jp E-mail: gkai\_s@city.sakuragawa.jp  
TEL 0296-751311  
FAX 0296-756033

## 私のメッセージ



田崎 洋佑さん  
真壁町伊佐々

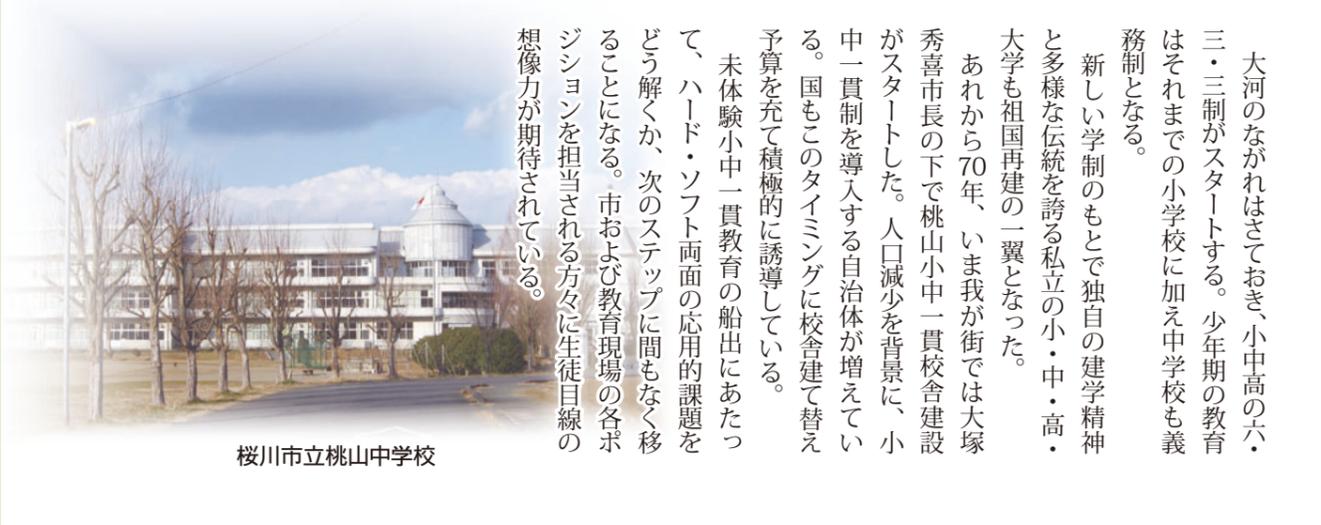
ふりかえれば、第二次大戦後の占領期間中（敗戦から講和条約締結まで）、連合軍の文教政策は日本の伝統的な文化や制度を悪の温床として否定した歴史を持つ。

日本を二度と立ち上がれないほどの弱小国にとどめ置く。驕る戦勝国の意図がそうさせた。

しかし占領統治の後期に入ると、冷戦で激しく対決する両陣営の国際環境が、その意図を修正させた歴史ともなっている。

占領下の文教政策は、憲法草案に始まり、世の中の諸制度や企業・大学の研究分野、市民ひとり一人の教養に至るまでいろいろな縛りをかけている。好奇心を充たす新聞や放送、書籍や教科書等については厳しい検閲で臨んだ。一連の洗脳作戦は海外で日本人捕虜が体験したそれと同じ水脈にいたる、といま明らかされている。そして心的後遺症はいまも尾を引く。

## 小中一貫教育の船出



桜川市立桃山中学校

大河のながれはさておき、小中高の六・三・三制がスタートする。少年期の教育はそれまでの小学校に加え中学校も義務となる。

新しい学制のもとで独自の建学精神と多様な伝統を誇る私立の小・中・高・大学も祖国再建の一翼となった。

あれから70年、いま我が街では大塚秀喜市長の下で桃山中小一貫校舎建設がスタートした。人口減少を背景に、小中一貫制を導入する自治体が増えている。国もこのタイミングに校舎建て替え予算を充て積極的に誘導している。

未体験小中一貫教育の船出にあたって、ハード・ソフト両面の応用的課題をどう解くか、次のステップに間もなく移ることになる。市および教育現場の各ポジションを担当される方々に生徒目線の想像力が期待されている。

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年の秋、桜川市は合併後、市制施行10周年を迎えました。

市議会としても、10周年を節目として新しい桜川市を目指し日々課題に取り組んでまいります。

桜川市立病院(仮称)の建設には、地権者の多大なるご協力で大和駅北地区に決定し、12月の定例議会で用地取得の議案が賛成多数で可決されました。

また、まち・ひと・しごと地

域創生では、内閣府から博報堂の深谷信介氏が派遣され、総合戦略室の職員とともに新しい風を吹かせていますので、大いに期待できると思います。

桜川市の未来のために、市議会も皆様とともに歩むべく、議会改革の研修も計画しています。

初心を新たに、市民の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りし、今年もよろしくお祈りいたします。



市村 香

### 議会広報特別委員会

委員長 萩原 剛志 副委員長 榎戸 和也  
委員 市村 香 委員 菊池 伸浩  
委員 大山 和則 委員 谷田部由則  
発行責任者 議長 潮田 新正

次の定例会は

**3月1日(火)**  
開会予定です。  
みなさまの傍聴をお待ちしています

### 議会日誌

#### 11月

27日 議会運営委員会  
議会全員協議会  
第3回臨時会  
建設経済常任委員会

#### 12月

3日 議会運営委員会  
議会全員協議会  
8日～11日 第4回定例会  
8日 議会広報特別委員会  
9日 文教厚生常任委員会  
22日 議会全員協議会

#### 1月

14日 議会広報特別委員会  
21日 議会広報特別委員会